

巻頭言

- 1 都市を取り巻く国際化の現状と今後の展望～激化する都市間競争時代を迎えて～  
矢田 立郎 神戸市長

特集

国際理解教育から地域を変える

～身近なものから学び、つながる地域・人・暮らし～

- 2 1 国際理解教育のこれまでとこれから＜国際理解教育の最近の動向等＞  
持続可能な社会をつくる市民を育む～国際理解教育の可能性～  
中村 絵乃 特定非営利活動法人開発教育協会（DEAR）事務局長
- 7 「福島」を「フクシマ」に変えた原発事故『東日本大震災応援チャリティ国際理解講座～未来を変えるのは私たち～』  
幕田 順子 公益財団法人福島県国際交流協会主任主査
- 9 地域の課題からはじめる国際教育を～地域課題の解決に向けたオリジナル教材の開発をとおして～  
大森 容子 公益財団法人滋賀県国際協会職員（国際教育研究会 Glocal net Shiga 事務局）
- 11 なぜ、国際理解教育なのか～自治体職員が引き出す地域の力：開発教育全国研究会から～  
原 志津子 財自治体国際化協会総務部企画調査課主査（総務省派遣）
- 13 2 いまどきの国際理解教育＜事例紹介＞  
ESDでつながる自治体・地域・NPO～国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム開発事業～  
愛媛県松山市総合政策部国際文化振興課
- 15 体験型イベント「教科書にのっていないアフリカ」から国際理解教育への継承  
今村 郁子 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン国内事業部マーケティング課
- 17 キャンペーンを活用した国際理解教育  
西 あい 特定非営利活動法人開発教育協会（DEAR）事務局次長
- 19 コラム 多民族国家アメリカの小学校における異文化理解～ダイバーシティとは？  
今川 勝之 ニューヨーク事務所所長補佐（警視庁派遣）

クレア海外通信【北京事務所】

- 20 海外事務所だより  
中国人訪日旅行者の回復・促進に向けて  
～中国の動向と自治体の取り組み～  
河上 良 北京事務所所長補佐（山梨県派遣）

海外生活だより

- 23 カードゲーム熱中録  
－三国志をテーマにした交流ツール－  
林 泰明 北京事務所所長補佐（鳥根県派遣）

クレア活用のススメ

- 25 ～国際協力の巻～  
平成17年度自治体国際協力専門家派遣（案業）及び平成19年度自治体国際協力促進事業（案業技術支援）を通じたクレアの活用について  
カンボジア王国コンボン・チュナン州案業支援事業  
クメール陶器の復活と農村の生活向上のために  
塚本 準一 栃木県産業技術センター案業技術支援センター特別研究員
- 27 ～海外活動支援・依頼調査の巻～  
ご活用ください！ ニューヨーク事務所における  
自治体の海外活動へのサポート・自治体からの依頼調査  
鈴木 智也 ニューヨーク事務所所長補佐（東京都派遣）

JETの広場

- 29 ファミリーネット～福井の日本人とJET参加者のコミュニティーとの架け橋～  
Family Net: Building bridges between the Japanese and JET communities in Fukui  
マデリン・ホーン 福井県越前町国際交流室国際交流員  
Madeline Horne
- 32 東北に触れて  
Touching Tohoku  
ニッキー・フルネス 宮城県石巻市・気仙沼市元外国語指導助手  
Nicky Furniss

わがまちの国際交流

- 35 アジアとの交流拡大を目指して  
－アジア青少年音楽交流事業「TEENS ROCK ASIA」の開催－  
茨城県生活環境部国際課

多文化共生のとびら

- 37 多文化が生きるまちづくり～いちよう団地、多文化まちづくり工房の活動から～  
早川 秀樹 多文化まちづくり工房代表
- 39 テレビ番組で取り組む多文化共生「KONBANWA SHIGA」  
マツト ダグラス 財自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課 プログラム・コーディネーター

国際協力情報ファイル

- 41 クレア事業の有効活用を－平成22年度の優良事例を紹介  
財自治体国際化協会交流支援部経済交流課

情報告知版

- 43 多文化社会実践研究・全国フォーラム（第5回）  
多文化共生社会に求められる専門人材像～東日本大震災から学ぶ～

書籍紹介

- 44 『人口激減－移民は日本に必要である』  
毛受 敏浩 著 新潮新書



表紙写真  
場所：ブータン王国タシヤンツェ小中学校  
説明：ブータンの教室は狭くて暗いため、時々青空の下でも授業を行う。  
（写真提供：関 健作/JICA）